

## 探鳥会のお知らせ

### 第1回「北へ」

寒い1月と暖かい3月。北へ向かう鳥たちはどんな振る舞いをみせるでしょうか。下足寄湖畔で、水鳥を観察しながら、足寄の春を探しましょう。

日時 4月13日(日曜日)  
午前8時～10時ころまで

集合 JAあしよる資材店舗付近  
7時50分集合



#### 持ち物・服装

防寒具や雨具  
長靴←かならず  
筆記具  
双眼鏡、フィールド  
カメラ  
野鳥の本

#### 講師

解説は足寄町西町の  
花田行博さん  
(日本野鳥の会理事)  
をお願いします。

#### 観察場所

下足寄湖北東岸  
(仙美里ダム湖)

暖かくなって南から渡ってくる小鳥を見る会は  
バードウィーク中の5月11日の予定です。

## 足寄動物化石博物館 開館から10年

足寄動物化石博物館は、1998年（平成10年）7月1日に一般公開を開始しました。今年満10年となります。「博物館だより」では、足寄動物化石博物館が「この10年なにをしてきたのか」をふり返り、将来を考える連載を計画しています。

### 1 この10年に見せたもの

博物館には施設のほぼ真ん中に「化石工房フォストリー」があります。工房には開館時にはいつも職員がいて、化石のクリーニングや復元の作業を進めています。この工房はそれ自体が足寄博物館のユニークな「展示」でもあり、新たな展示物や入館者向けの化石体験材料を生みだす場でもあります。

開館以来、工房から生みだされ展示室に提供されたおもなものを紹介します。

#### ○アショロアの復元骨格

アショロアは発掘当初北海道大学に収蔵されましたが、足寄での博物館設立にあたって、足寄町に移管されました。その後クリーニングや復元作業を進め、発見25周年にあたる2001年に全身骨格ができがり、展示されました。世界最古の束柱類です。

#### ○ムカシオオウミウ（昔大海鶴、ペンギンモドキ）の復元骨格

網走市で1987年に発見された海鳥の化石で、2003年に復元が完成し展示されました。茂螺湾の化石とほぼ同年代の海をペンギンのように泳いでいました。足寄の化石動物たちの生活を解明する際の重要な資料です。当館で収蔵しています。

#### ○足寄の歯クジラ化石

開館した頃は、足寄の歯クジラ化石の実体はよくわかっていませんでした。開館後見つかった化石をふくめて、全体像がわかるようにレプリカや実物標本を展示しました。



休館日 || 4月 1日 8日 15日 22日の火曜日 **29日は開館**

博物館の動き 4月（館の行事や職員の動き、来館団体、など）

4月 郷土資料館 中足寄に新規開館（旧 中足寄小学校校舎）

1日（火）～6日（日）  
10時～15時開館

4月中は土曜日・日曜日の午後に開館  
連休中の開館日は別途お知らせします

郷土資料館の問い合わせ・利用申込は 足寄動物化石博物館へ